

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	三橋 正道	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3900		事務事業名称	地域人権啓発活動活性化事業						短縮コード	経常		臨時	3900
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		人権啓発活動地方委託要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
県からの委託を受け、平成14年から実施。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
当該事業を実施して4回目となるが、更なる周知を図ることで参加人数の増加を図る。						大項目（節）	02	社会福祉						
						中 項 目	06	地域ぐるみ福祉						
						小項目（施策）	01	人材・団体等の育成と活動支援						
						細 項 目	01	人材・団体等の育成						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成21年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 人権啓発講演会の実施（講演と落語と津軽三味線）									
	※平成21年度に計画していること： 各年開催のため、21年度は実施せず。									
意図 （何を狙っているのか）	人権に関する講演会等を通じてやさしさや人を思いやる心の大切さ、人権の大切さを再認識してもらうことを目的とする。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	人口	人	188, 624	191, 000	191, 469	194, 000			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	参加者数	人	0	420	420				
	指標 2									
	指標 3									
成果指標	指標 1	参加者数	人		420	420				
	指標 2									
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		3900	事務事業名称	地域人権啓発活動活性化事業			所属名	健康福祉課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円		1,200	1,177		
		地方債	千円					
		一般財源	千円					
		その他	千円					
	主な事業費の内訳				報償費22千円 537千円	消耗品 委託料641千円	消耗品537千円 委託料641千円	
人件費(B)			千円	0	3,499.2	3,499.2	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	4,699.2	4,676.2	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		一人一人が人権に対する理解を深めることにより、社会全体も変っていく				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		講演会等により人権意識の啓発はなされているが、より一層の啓発活動が必要。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		県の再委託事業として市が委託を受け実施している事業であり、市の事業として実施するのが望ましい。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		事業内容に変更も無く、対象・意図とも妥当と思われる。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		講演会等の活動内容を充実させることでより多くの参加を促すことができる。					
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ I T化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☒ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		県の再委託事業として実施しているため、委託料の範囲内で実施しなければならない。				
			☐ ない						

コード	3900	事務事業名称	地域人権啓発活動活性化事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			人権の啓発として事業は継続すべきだが、講演会等の開催については関係機関やボランティアとの協働等により、市としての事務効率化が図られる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			県からの再委託事業であることから、市としてコスト面では改善の余地は無いが事務の効率化等により成果向上の余地はある。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
その時々時代の背景に即した事業を実施して欲しい。									

所属長コメント	事業を効果的に実施できるよう、関係機関やボランティア等との協働を視野に入れ、人権意識の向上につなげるための啓発活動を進めていく。									
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，関係機関やボランティアとの協働等により効率化を推進すべき。					
		☐ 手法プロセスの改革・改善								
		☐ 事業規模の拡大・縮小								
☐ 統合・役割見直し										
☒ その他										
☐ 廃止(事業完了含む)										
☐ 休止										
☐ 現状のまま継続										